

平成 27 年度第 3 回緑区支え合いのまち推進協議会議事要旨

【開 催】

開催日時 平成 27 年 12 月 19 日（土）14：00～16：00

開催場所 緑保健福祉センター2階 大会議室

出席者 委員 22 名中 18 名出席、ガイドヘルパー1名
千葉県保健福祉局地域福祉課 2 名、地域包括ケア推進課 2 名、生活支援
コーディネーター1名
事務局 7 名（緑保健福祉センター長、高齢障害支援課 3 人、社協緑区事
務所 3 名）

【次 第】

- 1 開会
- 2 報告事項
千葉県生活支援コーディネーターの配置について
- 3 議題
(1) 平成 27 年度 緑区支え合いのまち推進計画 進捗状況について
(2) 広報誌「みどりのきずな第 27 号」の承認について
- 4 推進協ミニ講座 第 3 回 あなたは「障害」を知っていますか？
- 5 連絡事項
- 6 閉会

【議事及び質疑要旨】

2 報告事項

主な発言内容は以下のとおり。

千葉県生活支援コーディネーターの配置について地域包括ケア推進課が説明
(中村和委員) 各区に 1 名配置の理由はなにか。

(西課長補佐) 最初は役割と活動内容を周知する人物を 1 名設置し、来年は 2 名体制
にする。

(中村和委員) コーディネーター選定の必須要件はあったのか

(西課長補佐) 事業者の利益にならないように公平中立等の要件は定めた。資格要件は
特でない。

(岡本委員長) 来年 3 月 31 日まで委託だと腰を据えてやるように見えないがどうか

(西課長補佐) 単年度予算の市の都合もあるが、2 名体制となる 4 月以降も今までの事業
者をお願いするつもりで考えている。

(岡本委員長) 地域に根ざした団体が担うべきなので 1 年交代だと困る。長期的な見通
しはどうか

(西課長補佐) 行政の予算が関係してくるので来年度の話は厳密には出来ないが、1 か

らまたやることは考えていない。引き続き同団体に継続してほしいと思っている。実績を見ながら契約等の検討になる。

(岡本委員長) 社協との関連はどうか

(西課長補佐) 社協のコミュニティソーシャルワーカーと生活支援コーディネーターが連携して地域のニーズを把握や資源開発をしていくつもりでいる。

(池田委員) あんしんケアセンター鎌取では既にコーディネーターと相談し活動を一緒に出来る体制を取り始めている。

(烏山委員) 介護保険の制度が移行期である。高齢者も増えるなか、要支援者の通所介護訪問介護を地域でとなると地域の支援が多様になる。皆で協力していかなければいけない。連携はしていかなければいけない。

(布施委員) 毎月見守りの会議を開催している。生活支援コーディネーターも参加してもらっている。地域を支える仕組みは地域の皆さんがチームを作っていけないといけないので専門職と地域で一緒に考え実行していきたい。

(岡本委員長) 千葉市の地域包括ケアシステムの姿の説明をお願いします。

(西課長補佐) 医療と介護と生活支援が連携をとり在宅でいつまでも生活できるような切れ目のない支援を提供できる体制を構築することが大事になる。それを実現するための姿がペーパーの図にしたもの。図の上半分が医療をしめしている。右上はいざという時の救急搬送等の連携である。左上は認知症への施策である。今後の高齢社会で極めて重要なテーマになっている。右下は介護を示している。介護保険の中のサービスを示している。在宅で生活しながらのサービスを示している。左下が地域の体制づくりを示している。町内自治会や老人クラブ等で地域での体制づくりを進めていく。コーディネーターはこの枠で活動することになる。その4つの中心が千葉市あんしんケアセンターであるという姿である。

議題(1) 平成27年度 緑区支え合いのまち推進計画 進捗状況について

主な発言内容は以下のとおり。

各地区部会エリアにおける計画進捗状況についての説明

(誉田地区部会・事務局が代理説明)

見守り活動を重点にしている。誉田地区部会に7つ目の見守り活動推進に特化した委員会立ち上げの準備を進めている。また辺田町内会では、見守り活動実施の動きが出てきている。

(椎名地区部会・本田委員)

まず椎名地区の活動状況をまとめた写真を配布したい。

重点項目として子どもと地域住民の交流を進めている。具体的には12月2日にふれあい交流会を実施した。子ども達に伝統芸能を発表してもらった。その後高齢者と一緒に食事会を行った。次に食育教育支援として太巻き寿司作りを行った。今年は20メートルの長さに挑戦した。グループホーム根本家から車椅子を寄贈してもらい車椅子体験を子ども達と一緒に

った。今後は廣田委員に椎名小学校での講演も実施していきたい。
高齢者見守りについては、12月20日に子ども達と一緒に地域のボランティアについて話し合う時間を設ける予定でいる。

いきいきサロンについては12月10日に落語家を招き大笑いした。

(土気地区部会・峰村委員)

見守り活動の推進を重点にしている。前回の説明と変わりはない。地区部会区域内で2町内会がスタートしている。さらに1つの町内会が見守りを考えているところに部会長が説明に訪問している。その後進んでいない状況。現状と課題にあるように今後進めていくための働きかけを工夫していく必要を考えている。見守りをしなくてもいいようにいきいきサロンの推進をしている。土気地区部会の広報誌47号に19会場、散歩クラブ5会場を記事にしている。散歩クラブの無い地域の方がその広報誌を見て近くの散歩クラブに連絡があったようで広報の重要性を認識した。

(おゆみ野地区部会・中村委員)

12月4日にふれあい散歩を実施した。今回のみどりのきずなの委員長記事に詳細は書いてあるので見て頂きたい。散歩することで閉じこもりがちな高齢者に外へ出てきてもらいコミュニケーションをとることを目的としている。おゆみ野地区には神社仏閣が多くあるのでその説明を聞き歩いている。28年度は参加人数も増やしていきたい。

(廣田委員) 身体障害者連合会の説明をする。第21回障害者作品展を10月7日から9日まで千葉市文化センター市民サロンで行われた。198人から265点の作品が出品された。262人の来場があった。力作が並んでいた。来年もあると思うので機会があれば覗いてほしい。12月5日に第17回障害者福祉大会がハーモニープラザの多目的ホールで行われた。毎年記念講演がある。森田気象予報士が講演した。また来年1月27日に越智小学校3年生の子ども達と保護者に福祉講話を行う。1月19日に椎名小学校6年生に福祉講話の依頼をいただいた。積極的に出ていき障害者について子ども達に話していきたい。千葉市身体障害者連合会に依頼してもらえると視覚障害以外に聴覚障害者や身体障害者が学校訪問することができるので是非問合せしてほしい。電話番号043-209-3281に電話してほしい。

(岡本委員長) みどりのきずなに重点目標を書いている。今回はおゆみ野地区のふれあい散歩に参加して記事にした。重点事業の進捗状況について誉田・土気も体験し書いていきたい。

議題(2) 広報誌の承認について

主な発言内容は以下のとおり。

(中村和委員) 広報部会で作成したみどりのきずな27号の最終案を提示したい。本日承認してもらえれば1月中旬までには発行したい。誤字脱字等の指摘事項あれば12月22日までに事務局まで連絡してほしい。

推進協ミニ講座

第3回 あなたは「障害」を知っていますか？

講師：廣田委員・鴨委員・小林委員

主な発言内容は以下のとおり。

(岡本委員長) 日中活動系サービスの就労移行支援について伺いたい。これは個人の希望で行うのか。一般企業の就職率はどの程度か。

(小林委員) 個人の希望で行っている。就労支援の事業所が担当することになる。就労支援に関しては国も力を入れている。就職率については把握していないが実際は多くはないと聞いている。雇用率を上げるために企業に制限を設けている。10年前と比べると就職率は上がっているが望んでいる人が望み通りどのくらい就職できているかは分からない。

(岡本委員長) 就労移行支援の際は1人の方に個別指導しているのか。

(小林委員) 各事業所で何名かの希望者に1人のスタッフで動いている。うちの施設では就労支援はしていない。

(廣田委員) トライアル雇用という制度がある。仕事に就きたい人が短い時間でできる仕事からやってみようという考えで、事業所と対象者を結びつけるジョブコーチがいて就労の状況を見て事業所へ雇用に関するアドバイスや対象者に対しての必要な配慮を指導したりしているが実際は大変だということは聞いている。

連絡事項

(事務局) 本日のミニ講座に関するアンケート用紙を配布している。1月15日までに意見をいただきたい。また、次回推進協は平成28年3月19日(土)14時からこの会場で開催するので出席をお願いしたい。

(事務局) 福祉カレンダーについて、3月分までのカレンダーは今回配布しているが、今後は社協のホームページに情報をアップしているのでそちらをご覧ください。経費節減もあるのでご理解いただきたい。

委員長が閉会を宣し、第3回緑区支え合いのまち推進協議会は散会。